

早再設工第1号

令和5年4月19日

歩掛参考見積募集要領

有資格業者 各位

独立行政法人 水資源機構

池田総合管理所長 岩本 浩

次のとおり、業務に係る歩掛参考見積を募集します。

令和5年4月19日

1. 目的

この歩掛参考見積募集は、池田総合管理所で予定している業務発注の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積募集に対してご応募いただくことをもって、業務発注の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありませんので、あらかじめご承知ください。ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員（技術者）を記載してご提出ください。
なお、参考見積書の様式は問いません。
- (2) 提出期間：令和5年4月27日（木）から令和5年5月9日（火）まで。
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日、令和5年5月1日を除く毎日、午前9時から午後4時までの間に(3)の提出先にご提出ください。
- (3) 提出先

独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所 所長 岩本 浩 宛

【 担 当 】 総務課 石川 (イシカワ)、丸山 (マルヤマ)

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話 0883-72-2050 F A X 0883-72-0727

メールアドレス : JWA_ikeda@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、F A Xまたはメールのいずれかの方法によりご提出ください (いずれも印影のあるものに限る)。

(5) 見積書有効期限

令和6年3月31日までとし、必ず記載してください。

(6) 提出様式

様式は自由としますが、別紙1を参考に以下の内容を必ず記載してください。

- ・文書番号 (早再設工第1号)
- ・宛名 (独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 岩本 浩)
- ・提出者名 (代表者 又は 代表者から委任を受けた者) と押印
- ・提出日

4. 参考見積内容

(1) 業務内容

本業務は、早明浦ダム再生事業後に導入する予備放流及び増設放流設備の操作方法について、既往洪水データ、既設設備及び現在の放流操作方を踏まえて、早明浦ダムの再生事業後における予備放流方法、放流操作方法について検討することを目的とします。

詳細については、別添-1「業務内容」のとおりとします。

(2) 業務作業項目及び数量

別添-2「歩掛参考見積内容」のとおりとします。

なお、備考欄等の記載内容にも留意願います。

(3) 業務費の構成と歩掛参考見積範囲

- 1) 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(各編)」(以下「基準書」という。)によるものとします。
- 2) 歩掛参考見積範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(2)「業務作業項目及び数量」を実施するために必要な作業員または技術者の人数とします。

(4) 作業員(技術者)の職種と定義

国土交通省が公表している「令和5年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対してご質問がある場合は、次のとおり、書面(様式は自由)によりご提出ください。

(1) 提出期間：令和5年4月20日(木)から令和5年4月24日(月)まで。

ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日、令和5年5月1日を除く毎日、午前9時から午後4時まで。

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

(4) 提出様式：様式は自由としますが、別紙2を参考に以下の事項を必ず記載してください。

- ・文書番号(早再設工第1号)
- ・宛名(独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 岩本 浩)
- ・提出者名(代表者 又は 代表者から委任を受けた者)と押印
- ・提出日
- ・質問事項

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和5年4月26日(水)から令和5年5月9日(火)まで。

(2) 閲覧方法：池田総合管理所ホームページの新着情報に掲載します。

池田総合管理所ホームページ(<https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/index.html>)

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせていただきます。

以 上

別紙1 <見積書参考様式>

※様式は自由となりますが、以下の例に記載する事項は必ず記載をお願いいたします。

※別添2の提出様式(案)を参考に内訳の記載をお願いします。

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職

池田総合管理所長 岩本 浩 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 氏 名

印

見 積 書

(件 名) 早再設工第1号にかかる参考見積案件

見積項目	見積内容	見積数量

見積有効期限：令和6年3月31日

別紙2 <質問様式例>

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職

池田総合管理所長 岩本 浩 殿

住 所

会 社 名

代 表 者 氏 名

印

質 問 書

(件 名) 早再設工第1号にかかる参考見積案件

番号	質 問 事 項
①	~~~~~。 ~~~~~。
②	~~~~~。
③	~~~~~。

- 注) 1. 質問事項ごとに番号を付するものとする。
2. 質問は代表者及び代表者から委任状により委任を受けた者が行うものとする。
3. 持参・郵送で質問事項が2ページ以上に及ぶ場合、袋とじの上、割り印を行うものとする。

※本様式は、水資源機構本社 HP の以下に掲載しています。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/keiyaku/service/ukeoi/kouji/kouji.html>

(ホーム → 入札・契約情報 → 様式提供サービス → 請負契約等において使用する様式 → 建設工事に係る様式 → 番号10)

業務内容

第 1 節 業務目的

本業務は、早明浦ダム再生事業後に導入する予備放流及び増設放流設備の操作方法について、既往洪水データ、既設設備及び現在の放流操作方法を踏まえて、早明浦ダムの再生事業後における予備放流方法、放流操作方法について検討するものです。

第 2 節 業務内容

2-1 計画準備

業務の実施に先立ち、業務内容を十分理解し、円滑な業務遂行ができるよう業務計画の立案を行うものとします。

2-2 資料収集整理

受注者は、業務を実施するにあたり貸与資料や必要な資料等を収集し、早明浦ダム下流河道の流下能力、河川利用状況、出水前の流況や貯水池の状況を踏まえ、予備放流を含むダムの放流操作を確実かつ安全に実施するための検討に必要な基本情報及び条件等を整理するものとします。貸与資料以降の令和 3 年以降の早明浦ダム運用実績情報、気象観測資料並びに、気象予測資料を収集補完するとともに、現在のダム管理操作で策定している操作要領及び既存予備放流方法（今後の操作要領案）を収集するものとします。

2-3 予備放流方法の検討

1. 受注者は 2-2 資料収集整理結果を基に、管理運用開始からの予備放流の対象となる全ての洪水、小規模出水（流入量 100m³/s 以上 800m³/s 未満）（以下「洪水等」という。）について、洪水ランクの整理、予備放流開始及び予備放流終了の時期を整理し、計画上の貯水位及び実績貯水位、気象予測などを考慮した予備放流開始判断について検討するものとします。
なお、検討にあたっては、実績降雨と予測降雨による違いも比較検討するものとします。
2. 検討にあたっては、現在の早明浦ダム管理施設の操作に関する各種要領、近年の流域治水及び降雨予測の動向など治水に関する社会情勢を踏まえて、既存予備放流方法の改良案についても検討を行うものとします。改良案については、予備放流対象洪水規模、開始判断などについて、既存方法より、多くの洪水等で予備放流が達成できる内容も視野に入れ既存予備放流方法を含めて複数案検討するものとします。
3. 検討は、予備放流の達成、予備放流後の水位回復、操作時間、下流への影響、気象予測情報の変化、予測降雨量の設定方法による違い等多面的に行うものとします。
4. 検討の結果を基に予備放流要領（案）として整理を行うものとします。

2-4 放流操作方法の検討

1. 受注者は、再生事業後の早明浦ダム既設放流設備及び増設放流設備の使用方法について検討を行うものとします。検討にあたっては、2-3 で検討した予備放流方法も加味したものとし、各放流設備の放流能力を加味した上で、治水機能発現効果、ゲート操作が煩雑にならない操作方法や環境に配慮したゲート操作の優先順位を含めた操作方法など 3 案程度検討し、比較検討を行うものとします。
2. 検討にあたっては、計画波形及び 2-3 で整理した既往洪水実績を基に計画上の貯水位及び実績貯水位で操作方法の実現性を整理するものとし、比較にあたっては、放流操作方法の実施可否、操作性及び環境（濁水、水温）への影響について行うものとします。

3. 検討の結果を基に放流操作方法（案）として整理を行うものとします。

2-5 説明資料作成

1. 受注者は、本業務の成果をとりまとめ機構が関係機関等へ説明する際に必要となる基礎資料を作成するものとします。資料の構成等の詳細については、別途、調査職員と協議するものとします。

第 3 節 報告書作成

1. 受注者は、本業務で実施した内容に関して、検討手法、過程等を含めた報告書を作成するものとします。既往成果を引用する際は、できる限りコピーを添付又は引用ページを記載するものとします。
2. 報告書作成にあたっては、本検討における予備放流方法及び放流操作方法の課題及びダム操作における他の操作要領との整合性を踏まえた課題を抽出し、今後の課題解決に向けた検討方針案をとりまとめるものとします。
3. 報告書は概要版作成を含むものとし、概要版は報告書の冒頭に掲載するものとします。

第 4 節 貸与資料等

1. 本業務の貸与資料は、次のとおりです。
 - (1) 早明浦ダム再生事業運用方策検討業務報告書（平成 31 年 3 月）
 - (2) 早明浦ダム再生事業予備放流操作検討業務報告書（令和 2 年 3 月）
 - (3) 早明浦ダム再生事業水質予測業務報告書（令和 2 年 3 月）
 - (4) 早明浦ダム再生事業放流操作検討業務報告書（令和 3 年 3 月）

－以 上－

歩掛参考見積内容

- 下表の項目を実施するのに必要な人員を記載してください。
- 業務実施にあたり、必要な作業日数を記載してください。

項目及び条件	種別		主任技術者		理事、技師長		主任技師		技師A		技師B		技師C		技術員		作業日数 (※1)	備考
	単位	数量	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額		
計画準備	式	1																
資料収集整理	式	1																
予備放流方法の検討	式	1																
放流操作方法の検討	式	1																
説明資料作成	式	1																
報告書作成	式	1																
合計																		

- ※1 作業日数については、各見積項目を実施するうえで、必要な作業日数（不稼働日数を見込まない実日数）を記載してください。
また、作業日数の合計については、各項目の作業ラップ期間を考慮し、業務全体を実施するにあたり、必要な業務期間（不稼働日数を見込まない実日数）を記載してください。（例：当該業務実施に必要な期間は〇〇日間）
- ※2 記載例の技術者以外に作業員の計上が必要な場合は追加で記載願います。